

令和2年度京都府公立学校教員採用選考試験

公開セミナー

令和元年5月11日（土）に令和2年度京都府公立学校教員採用選考試験の公開セミナーを実施しました。

当日は305名の参加があり、教員採用選考試験に関する説明に加えて、現役教員によるパネルディスカッションでは、教員の魅力、学校現場の課題や状況、教員に求められるものなどを、実体験に基づき、語っていただきました。

教師になってよかった

～その感動、京都府で一緒に味わいませんか？～

☆公開セミナーの概要☆

1 あいさつ

2 令和2年度教員採用選考試験説明

- 令和2年度教員採用選考試験概要
- 京都府の教育の特色
- 求められる京都府の教員像



参加者の感想

- 具体的に何をしておいたら良いのか（普段から気を付けておく点）が詳しく聞けたので良かったです。「児童生徒に将来、幸せになってもらうための教育」という言葉、感覚をぜひ採用までに身に付けたいです。現在、府内で講師として勤めていますが、お話にあったような事例（支援の必要な子ども）も多く目の当たりにしていますので、具体的にイメージしながら聞くことができました。
- 一つ一つ、とても分かりやすく説明して下さったので、よい復習になりました。ポイントに着目されているところが聞いているだけで分かる話し方を、私もまねさせていただこうと思いました。
- 採用試験の要項、流れについて詳細まで知ることができました。また、京都府の教育施策や求められる教員像を今一度把握できたため、展望をもって試験に臨めると思います。

3 パネルディスカッション「教師になってよかった！」

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のそれぞれの教員による体験談

- 勤務する学校の紹介
- 児童生徒の様子や学校の状況
- 現実の教員生活「教員としての体験談」
- 苦労した、苦労していること
- 教師という仕事の魅力
- 教員志願者へのアドバイス

など



参加者の感想

- 4名の先生方の生の声を聞かせて頂き、改めて子どもたちの成長を見守り、支援することができる教員という仕事は魅力が溢れているなと思いました。現在、講師として勤務する中で、悩むことや苦労することもあります。それは子どもたちのためであり、その苦労こそがやりがいにつながっていくのだなと思いました。私も4名の先生方のように、魅力のある教員になりたいと思いました。
- 現場のリアルな話をこうして直接聞くことは、本当に貴重な機会です。何から何までメモすることばかりで、ペンが追いつきませんでした。どの先生方も、教員という仕事に対して、自信とやりがいをもって取り組まれていることが分かりました。
- パネルディスカッションでは、若手の教師の方ならず、助言者として副校長先生までお招き頂き、透明性のある話をして頂きましたので、非常に分かりやすいセミナーでした。
- 小・中・高・特支の学校のそれぞれの姿を想像する事ができ、先生方の生の声を聞いて良かったです。また、生徒は先生を見てないようで、しっかり見ていると実感し、「映し鏡である」という言葉にとっても納得しました。

4 その他

- 先輩教員によるアドバイスコーナー
- 採用選考試験Q&Aコーナー
- 教員採用試験願書持参者の受付



公開セミナー以外にも京都府教育委員会では、

教員採用選考試験説明会 in キャンパスプラザ京都、**近隣の大学 42 会場で大学出前説明会**を実施しました。

参加者数 説明会 in キャンパスプラザ京都 48 名 大学出前説明会 485 名